

インド

テースタ用水路水力発電事業(Ⅰ)(Ⅱ)



用水路上に建設された水力発電所

[借款概要]

承諾額/実行額	14,247百万円 / 14,003百万円
借款契約調印	1986年12月 / 1991年1月
借款契約条件	金利3.25% / 2.5%、返済30年(据置10年)
貸付完了	2000年3月 / 2000年3月

[事業概要]

西ベンガル州北部のダージリン地区及びウエスト・ディナジュプール地区において、州政府が進めるテースタ灌漑事業の用水路上の3カ所に発電所を建設することにより、同州のピーク需要に対応した電力供給の安定化を図るもの。

[評価結果]

本事業により建設された3カ所の発電所(7.5MW×9基、計67.5MW)は、1997年10月から99年8月にかけて順次完成し、2000年4月から本格的な商用運転を行っている。しかしながら、用水路築堤の損壊、シルトの堆積、浮遊物による取水口の目詰まり等の問題により、十分な水量を得ることができず、2000年度の発電量は118GWhと計画発電量(約320GWh)を下回っている。

このため、本事業の実施機関である西ベンガル州電力公社(WBSEB)では、用水路を管理している灌漑・用水局に対し、用水路の補修工事の実施を積極的に働きかけて来た。その結果、取水量は徐々に増加しつつあるが、今後、WBSEBによる補修費用の一部負担の可能性を含め、用水路の補修・維持管理のために必要な予算を確保し、着実に実施して行くことが望まれる。

なお、発電機については、現地納入企業の協力も得て定期補修が計画的に実施されているが、これまで一部の発電機にトラブルが生じていることもあり、引き続き適正な維持管理に努めることが必要である。